

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公開番号】特開 2003-343469 (P2003-343469A)

【公開日】平成 15 年 12 月 3 日 (2003.12.3)

【出願番号】特願 2003-554 (P2003-554)

【国際特許分類第 7 版】

F 0 4 C 25/02

F 0 4 B 45/04

F 0 4 C 23/00

F 0 4 C 29/00

【 F I 】

F 0 4 C 25/02 K

F 0 4 B 45/04 1 0 1

F 0 4 C 23/00 E

F 0 4 C 29/00 J

F 0 4 C 29/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 5 】

小径部 2 0 2 は、駆動源としての電動モータ M から回転軸 1 9 , 2 0 を介して主ポンプ 4 9 に至る主駆動経路の一部（この一部は、回転駆動軸 M 1、軸継ぎ手 1 0 , 回転軸 1 9 , 2 0 の一部及び歯車 3 9 , 4 0 のことである）を含む副駆動経路を構成する。補助ポンプ 5 6 B は、前記副駆動経路を介して駆動力を得るように、前記主駆動経路から外れた前記副駆動経路に連結されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 7 】

補助ポンプ 5 6 C を構成するポンプハウジング 7 0 C は、一体形成されている。弁押さえ 7 4 にはシリンダ 7 4 1 が一体形成されており、シリンダ 7 4 1 内にはガイド体 7 8 C がスライド可能かつ回転不能に嵌入されている。ガイド体 7 8 C は、軸受け 7 7 C を介してカム部 7 5 に支持されている。ガイド体 7 8 C は、第 4 の実施の形態におけるガイド体 7 8 と同じ役割を果たし、カム部 7 5 が回転すると、ガイド体 7 8 C は、軸線 M 1 1 の方向へ移動する。ガイド体 7 8 C は、シリンダ 7 4 1 内に作用室 7 4 2 を区画する。つまり、ガイド体 7 8 C は、容積変更体としてのピストンである。カム部 7 5、環状溝 7 6、ローラ 7 9、ラジアルベアリング 8 0 及びガイド体 7 8 C は、ガイド体 7 8 C を軸線 M 1 1 の方向へ往復させるための変換機構 8 1 C を構成する。